

はしがき

英語のリーディング授業の目的は何でしょうか。その文章の内容を理解すること？ もちろんそれは必要なことです。しかし**文章の内容自体の把握が目的ならば、同じ内容について最初から日本語で書いてある文章を読んだ方が早い**でしょう。それをあえて英語で読むのは、そのようなトレーニングをすることによって、後々に自力でそのような英語を理解する能力を養成するためです。

このような一見当たり前に思えることをあえて確認したのは、**英語のリーディング授業の目的が英語力の養成であることを忘れ、その文章の内容の把握が到達目標であるかのような学習方法をとる人が意外に多い**からです。

例えば、英文を読んで日本語に訳すことばかりをしているとどうなるのでしょうか。英文和訳とは、英文を読んでその意味を考え、それを日本語で表現しなおすという営みです。いわば英語から出発して日本語に到達して終わる作業です。英文の意味を正確に把握するために日本語で表現してみることは確かに役立つ部分もあるのですが、英語力を伸ばす上では実は大きな落とし穴があります。それは、最後に到達するのが日本語であるため注意が日本語表現に集中してしまうことです。こうなると、**記憶に残るのは日本語で表現された内容ばかりで、肝心の英語表現はさっぱり覚えていない**、ということが起こりえます。

高校時代に、英文和訳が出題されるテスト対策として、和訳自体を丸暗記していった人はいませんか。そのような作業は、そのテストで点が取れたとしても、英語力を伸ばすこととは無関係であることは言うまでもありません。**英語力を高めるためには、英文を読んだ後で、「内容」自体ではなく、「内容を表していた英語表現」が記憶に残るような学習をしなければならない**のです。

本テキスト *Reading in More Action* は、リーディングにおける内容の把握を到達点ではなくむしろ出発点ととらえ、その内容を表現していた英語をさまざまなタスクの中でアウトプットすることで、**マテリアルで使われていた語彙や表現や英文を自分のもの**にすることを目標に編まれた *Reading in Action* (2009)、*Reading in Action Basic* (2016) の流れを受け継ぐ最新のリーディングテキストです。「倫理的消費」「インクルーシブ教育」「性的マイノリティ」「男性の育児休暇」など、**今日必ず知っておかなければならないホットなトピックについて読みながら、ペアワークやグループワークの形で、英語表現をたくさん聞き、また口にできるように構成してあります**。

一つのユニットが終わった後には、(1) そのマテリアルで使われていた**主要な語彙、表現、英文がすらすらと口をついて出るようになり**、(2) その英文内容を簡単な英語で要約できるようになり、(3) 扱われていた**テーマについて自分の意見がある程度言えて書けるようになる**、ことを目標としています。

ご存じのように、英語が使えることの重要性は年々高まるばかりです。皆さんは本テキストを活用して、自分の将来を切り開くための本物の英語力を是非身に付けてください。

本テキストの効果的な使い方（学生の皆さんへ）

本テキストは、英文の内容をまずは正確に読み取ることを出発点として、それに加えてそこに使われていた語句や英語表現などを自分のものとして身に付けること、それらを使って自分の意見を述べることを目標に作られています。皆さんには以下のような学習方法をお薦めします。

1st Reading

まずは一度、本文を自力で通読（黙読）してみましょう。英文タイトルを読み、それに付されている日本語（英文タイトルの直訳ではなく、日本語として全体をまとめているキャッチコピー的なものです）を読んで内容を予測しながら、第1段落から最後の段落まで、意味を考えながら読んでみます。

英文を読むのに慣れていく度合いにもよりますが、意味の切れ目と思われる箇所にスラッシュ（/）を付けたり、表現のまとまりと思われる語句を四角かっこ（[]）で囲んだり、挿入語句だと思われる箇所に丸かっこ（（ ））を付けたりするのもお勧めです。

分からない単語が出てきてもこの段階では我慢して辞書は引かず、意味を推測しながら最後まで読み切ってみましょう。多少分からない箇所があっても読み進む力（「曖昧さに対する耐性」「tolerance for ambiguity」）をつけることも大切だからです。

2nd Reading

ダウンロード音声を1文ずつ再生して、単語の発音はもちろん、強く読まれる箇所（その文の新情報である可能性が高いです）、わずかにポーズが置かれる箇所（文法的、構文的な切れ目である可能性が高いです）を確認し、場合によってはそれらに適宜印を付けながら、今度は知らない単語は辞書で確認しながら読んでみましょう。

辞書でその語の最初に挙げてある訳語に飛びつくのではなく、その文脈に合った品詞・訳語を吟味します。また可能な限り英英辞典（ネット上にも優れた辞書があります）も利用すると、さらに英語力がついていきます。次に述べる、**Chunking** と同時並行で行ってもよいでしょう。

Chunking

本文中の英語のかたまり（**chunk**）の日本語訳を見ながら、それに相当する英語部分を探す活動です。ダウンロード音声には正解が録音されていますので、一つ一つ確認しながら進むとよいでしょう。

日本語訳に対応する英語を確認するということは、裏返せば英語の日本語訳を確認することにもなりますので、**2nd Reading** のヒントにもなる活動です。目標は、日本語訳を聞くだけで対応する英語をすぐに言えるようになることです。指示に従ってペアワークで練習するとよいでしょう。

Choosing

本文の最も大切な内容を5つの文にまとめたものを、選択肢によって完成させる活動です。**2nd Reading**と**Chunking**の後であれば、どちらがtrueであるかはすぐに分かるはずです。また、ダウンロード音声で確認もできます。trueの選択肢が確認できたらそこで終わらず、そちらの選択肢を入れた文を、教科書を見ずに言う練習をしてください。この5つの文を続けて言えれば、本文の要約ができていくことになります。これも指示に従ってペアワークをすると効果的です。

Oral Reading

これは本文に関連する3つの文を、音声面に細心の注意を払って音声化（音読、さらには見ずに言ってみる **read and look up**）の練習をすることで、皆さんの英語をより英語らしいものにするための活動です。英語の強弱リズムやリンキング、呑み込まれるように発音される部分が可視化された英文を見ながらダウンロード音声を聞き、まずは英語音声のイメージを確認してください。次にそれを真似て音読してみます。

この**Oral Reading**の3つの文もやはり続けて言えば本文全体のポイントが浮かび上がるように作ってありますから、できれば覚えてしまうまで練習すると効果的です。

Defining

英語の定義を読んで、それに当たる語を探す活動です。ターゲット語を当てるのと同じかそれ以上に、その英語定義のほうを理解し、英語による定義の仕方を学ぶことが英語力アップに役立つ活動です。ペアワークの指示を一步進めて、英語定義のほうを何も見ずに言ってみることにトライすることをお勧めします。もちろん一人で言うこともできます。

Repeating

Definingの正解の語あるいはその変化形・派生語を用いた文を完成する活動です。例文はいずれも短めですから、ワーキングメモリに入れて（一瞬覚えて）一気に言ってみることが十分に可能になっています。ダウンロード音声で答えを確認して終わりにせず、是非そこまでやってみましょう。そのような積み重ねで少しずつ英語を話す地力がついていきます。

Retelling

本文の内容のポイントを、自分なりに口頭で再生する（**retell**する）活動です。本文で使われたキーワードやフレーズが、箇条書きの番号や、関連性や因果関係などを表すシンブルな矢印などの記号とともに提示されています。

まずは全体を眺めながら、内容を思い出してみましょ。思い出せない部分があれば、本文のそれらしい箇所を再読してみてください。内容が思い出せたなら、これらのキーワード（名詞、動詞、形容詞などの「内容語」が中心です）に、機能語（前置詞、冠詞、**be**動詞、助動詞など文法的な機能を担う語）を補いながら、センテンスにして言ってみましょ。

この時、決して言うべきことを全て書き出してはいけません。キーワードのみを見ながら、頭のなかで機能語を補いながら話すことで、スピーキング力が鍛えられるからです。

ダウンロード音声は単なる一例なので、あくまで参考にするにとどめ、自分なりの表現で話してみるのが大切です。最終的には1分間程で全部言えるようになることを目指してください。

Commenting

総仕上げとして、本文で述べられている事柄や意見などについて、自分なりに英語でコメントする活動です。本テキストは、議論を呼んだり、異論を持つ人が必ずいたりするようなトピックを数多く扱っています。テキスト内容を受動的に理解しただけで終わらず、理解した内容について自分が感じたことや思ったことを是非英語で表現してみましょう。

与えられた文のなかで自分の考えと近いものがあれば、そのまま「覚えて」言うだけでもとりあえずの「意見表明」になります。自分の考えと反対のものがあれば、**Some say ...** に続けてその文を言い、最後に **but I have a different idea.** などと言って、自分の考えを説明してみましょう。いくつか組み合わせたり、さらに自分のオリジナルな意見を付け加えたりすればさらに内容が豊かになるでしょう。ペアになって考えを言い合い、相手の意見に対してさらに自分の意見が言えるようになることが大切です。

CONTENTS

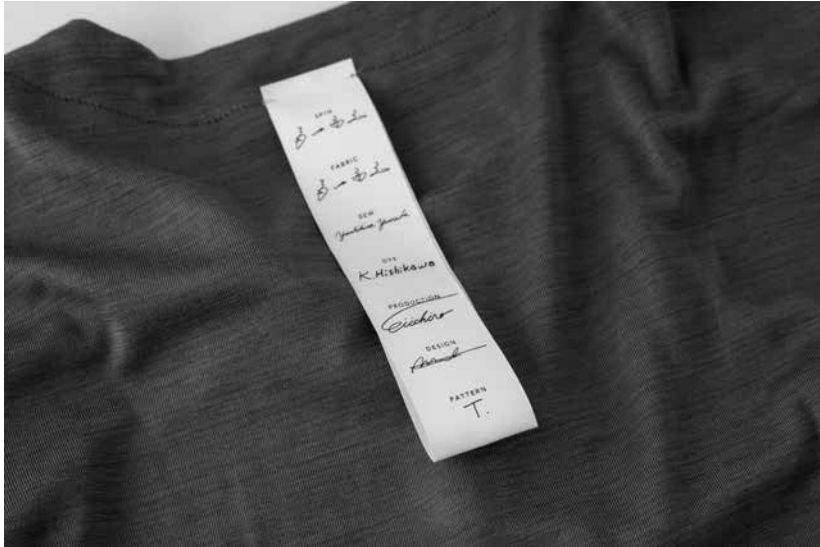
本テキストの効果的な使い方（学生の皆さんへ）

- Unit 1** | **Let Us Be Ethical Consumers**
倫理的消費に取り組み始めたアパレル産業 …… ファッション・環境・社会 10
- Unit 2** | **Inclusive Education for People With Disabilities**
障がいのある人も共に学び、共に暮らせる日本へ …… 教育・社会 16
- Unit 3** | **Debate Over Transgender Athletes**
トランスジェンダーの女子選手は有利なのか …… LGBTQ・スポーツ 22
- Unit 4** | **Robots as Family Members to Love**
可愛がるためのロボットはいかがですか …… テクノロジー 28
- Unit 5** | **Japan's Baby Stroller War**
ベビーカーが邪魔にされる社会とは …… 子ども・社会 34
- Unit 6** | **Pay Taxes and Save Cats and People**
ふるさと納税でネコ助けと人助け …… 動物・社会 40
- Unit 7** | **Easier Access to Paternity Leave**
男性に育児休暇を取得してもらうために …… ジェンダー・社会 46
- Unit 8** | **Veganism on the Rise**
野菜から作った「豚骨ラーメン」 …… 食文化 52

- Unit 9** | **Same-Sex Partnership Oath System**
東京都パートナーシップ宣誓制度 LGBTQ 58
- Unit 10** | **Get Out of Japan to Earn More Money?!**
外国に「出稼ぎ」に行く若者たち 経済・社会 64
- Unit 11** | **Baby Names Getting More Creative**
キラキラネーム増加中、その理由とは 子ども・社会 70
- Unit 12** | **Japanese Love Affair With PET Bottles**
PET ボトルの水平リサイクルを増やすために 環境 76
- Unit 13** | **Japanese Teachers Needed**
日本語教師不足をボランティアで埋めるのか 移民・社会 82
- Unit 14** | **The Backyard Ultra Marathon:
It is easy ... until it is not**
なぜ3日も4日も走り続けるマラソンなのか スポーツ 88
- Unit 15** | **Beware of Your Digital Footprint**
その書き込み、誰に見られてもOKですか SNS 94

Let Us Be Ethical Consumers

倫理的消費に取り組み始めたアパレル産業



EQUALAND -TRUST AND INTIMATE- / Produced by ONEO Ltd.

Reading

CD1-02 ~ CD1-11

1 TOKYO—Apparel makers are increasingly creating products in ways that
2 take into consideration the human rights of those involved in production and
3 the environment. Such moves are aimed at raising brand value by tapping into
4 demand among people looking for such products in so-called ethical consumption.

5 Ethical consumption is expected to present opportunities for tackling issues
6 such as human rights violations and environmental destruction.

7 Equaland Trust and Intimate, a brand that uses natural materials, attaches
8 a “tag of trust” to its products. The tag, inscribed with the signatures of cotton
9 producers and designers, certifies that the brand is determined to reduce its
10 environmental impact and that it protects the human rights of its producers.

11 The 2013 collapse of a garment factory in Bangladesh triggered a global
12 movement in the apparel industry to review poor working conditions. Last year,
13 allegations of forced labor surfaced in China’s Xinjiang region. Equaland’s tag is a
14 reflection of its commitment to tackling such dark legacies of the apparel industry.

15 “Those who make clothes have been oppressed and not been able to express
16 their anger,” said Shinichiro Kose, one of the brand’s founders. “The tag also shows

respect for the makers.” 17

The U.N. Conference on Trade and Development in 2019 called apparel the 18
second most polluting industry after oil, taking issue with overproduction and 19
massive waste stemming from the rise of low-cost fashion. In the apparel industry, 20
the production of materials and products requires massive amounts of water, while 21
the incineration of waste emits large amounts of carbon dioxide. 22

Efforts to improve the industry’s environmental impact are slowly taking root. 23
Goldwin Inc., the trademark owner of outdoor gear brand The North Face in Japan, 24
plans to release fleece and denim products that use artificial protein yarns made 25
from plants this autumn. The clothing maker plans to produce artificial yarn made 26
from discarded cotton clothes in the future. Ryohin Keikaku Co., a lifestyle goods 27
company that operates the Muji brand, is collecting used clothing produced by the 28
company and dyeing it to sell again at 18 select stores in Japan. 29

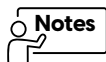
Ethical consumption has taken root in the United States and Europe. In 30
Britain, the market for such goods, including foods, is calculated to have reached 31
some ¥19 trillion in 2020. 32

On the other hand, a survey conducted the same year by Japanese advertising 33
agency Dentsu Inc. found that 76% of respondents in Japan did not know the 34
phrase “ethical consumption” at all. 35

“There is a polarization of awareness in Japan,” said Tomokazu Seki, business 36
strategist at Dentsu who carried out the survey. Seki stressed the need to raise 37
the value of socially conscious goods in order to make them more popular, saying, 38
“They need to look good and be easy to buy.” 39

Jiji / The Japan News

(455 words)





ℓ.3 tap into ~ 「～を利用する」 ℓ.8 inscribe 「(言葉を)刻みつける、書く」

ℓ.18 U.N. Conference on Trade and Development 「国連貿易開発会議 (UNCTAD 『アンケート』と略記)」 ℓ.24 gear 「用品 (一式)」

1. ①～⑳の日本語に相当する表現のかたまりを本文から抜き出し、音声で確認しましょう。
 ()内の数字は語数を表し、数字の後に「/分」とあれば、該当部分が本文中で連続していないことを表します。

2. 次のペアワークをしましょう。終わったら、役割を交代しましょう。



-  Aさん＝教科書を見ながらランダムに①～⑳の日本語を言う
-  Bさん＝何も見ずにAさんの日本語に該当する英語を答える

- | | |
|------------------------------|--|
| ① 考慮に入れる (3) | |
| ② 生産に関わる人々の人権 (8) | |
| ③ ブランド価値を高めることを狙って (5) | |
| ④ いわゆる倫理的消費に対する需要 (5/分) | |
| ⑤ 問題に取り組む機会 (4) | |
| ⑥ 人権侵害と環境破壊 (6) | |
| ⑦ 環境への自分たちの影響を減らすことを決意して (6) | |
| ⑧ 自分たちの生産者の人権を守る (7) | |
| ⑨ アパレル産業での世界的な動き (7) | |
| ⑩ 劣悪な労働条件を見直す (4) | |
| ⑪ 強制労働の申し立て (4) | |
| ⑫ アパレル産業のそんな暗い遺産 (7) | |
| ⑬ 自分たちの怒りを表現できなかった (8/分) | |
| ⑭ 作り手に対する敬意を表す (5) | |
| ⑮ 環境汚染が二番目にひどい産業 (5) | |
| ⑯ 過剰生産と大量の廃棄物に異議を唱える (7) | |
| ⑰ 大量の水を必要とする (5) | |
| ⑱ 大量の二酸化炭素を排出する (6) | |
| ⑲ その産業の環境への影響を改善する (5) | |
| ⑳ ゆっくりと根付き始めている (4) | |
| ㉑ 植物由来の人工タンパク質の糸 (6) | |
| ㉒ 捨てられた木綿衣料から作られた (5) | |
| ㉓ 同年に実施された調査 (6) | |
| ㉔ 意識の二極化 (4) | |
| ㉕ 社会的意識のある製品の価値を高める (7) | |

Choosing

DL 003 CD1-13▶

- ①～⑤の [] 内のどちらの語を選ぶと true になるか考え、音声で確認しましょう。
- 次のペアワークをしましょう。終わったら、役割を交代しましょう。

 Aさん = [] 内のどちらかの語を選び、①～⑤の文全体をランダムに音読する
 Bさん = 何も見ずにAさんの音読を聞き、それが true か false かを判定する。
 さらに、true ならそのまま繰り返し、false なら訂正する。

- ① Those who make clothes have tended to be forced to work in [ideal / poor] conditions.
- ② The apparel industry has been a major environmental polluter, using huge amounts of [water / air] and emitting tons of CO₂.
- ③ Clothing manufacturers are beginning to [consider / ignore] the human rights of those who make their clothes.
- ④ One manufacturer is putting a special label on their products to [show / hide] that the clothes have been made with concern for the environment and the human rights of the workers.
- ⑤ Awareness of ethical consumption is [more / less] widespread in Japan than in the US and Europe.

Oral Reading

DL 004 CD1-14▶

音声イメージが可視化された文を見ながら音声を聞き、まねて音読しましょう。
 太い部分は長めに、それ以外は短めに、() 内の音は呑み込むように、- の部分はリンキングして、/ の部分ではポーズを置いて発音します。

1. Apparel **ma**kers are **in**creasingly **crea**tting **pro**ducts / in **ways** tha(t) **take** into **con**sideration / the **hu**man **ri**ghts of **those** involved in **pro**duction / an(d) the **en**vironment.

POINT 関係代名詞の that はごく軽く。

2. **Those** who **ma**(ke) **clo**thes have been **op**pressed / an(d) **no**(t) been **able** to **ex**press their **an**ger.

POINT n で終わる been の後に母音があれば、なめらかにリンキング。



3. **Eth**ical **con**sump(t)ion has **taken** **ro**ot / in the **Uni**ted **Sta**tes an(d) **Eu**rope.

POINT th では舌先をしっかりと歯に当てる。

Defining

DL 005 CD1-15

- ①～⑧の定義に当てはまる語を本文から選んで書き、音声で確認しましょう。
- 次のペアワークをしましょう。終わったら、役割を交代しましょう。



 Aさん＝教科書を見ながらランダムに①～⑧の定義を言う
 Bさん＝何も見ずにAさんの定義に該当する単語を答える

- ① (c _ _ _ _ _) = to officially state that something meets certain standards
- ② (t _ _ _ _ _) = cause an event or a situation to happen or exist
- ③ (a _ _ _ _ _ _ _) = a claim or assertion that someone has done something illegal or wrong
- ④ (s _ _ _ _ _) = to become known
- ⑤ (s _ _ _) = to originate in or to be caused by
- ⑥ (i _ _ _ _ _ _ _ _) = complete burning of something
- ⑦ (d _ _ _ _ _) = to get rid of something as no longer useful
- ⑧ (p _ _ _ _ _ _ _ _) = division into two sharply contrasting groups or sets of opinions or beliefs

Repeating

DL 006 CD1-16

- ①～⑧の空欄を **Defining** の正解の語あるいはその変化形・派生語で埋め、音声で確認しましょう。 **Defining** のそれぞれの語は一度しか使えません。
- 次のペアワークをしましょう。終わったら、役割を交代しましょう。

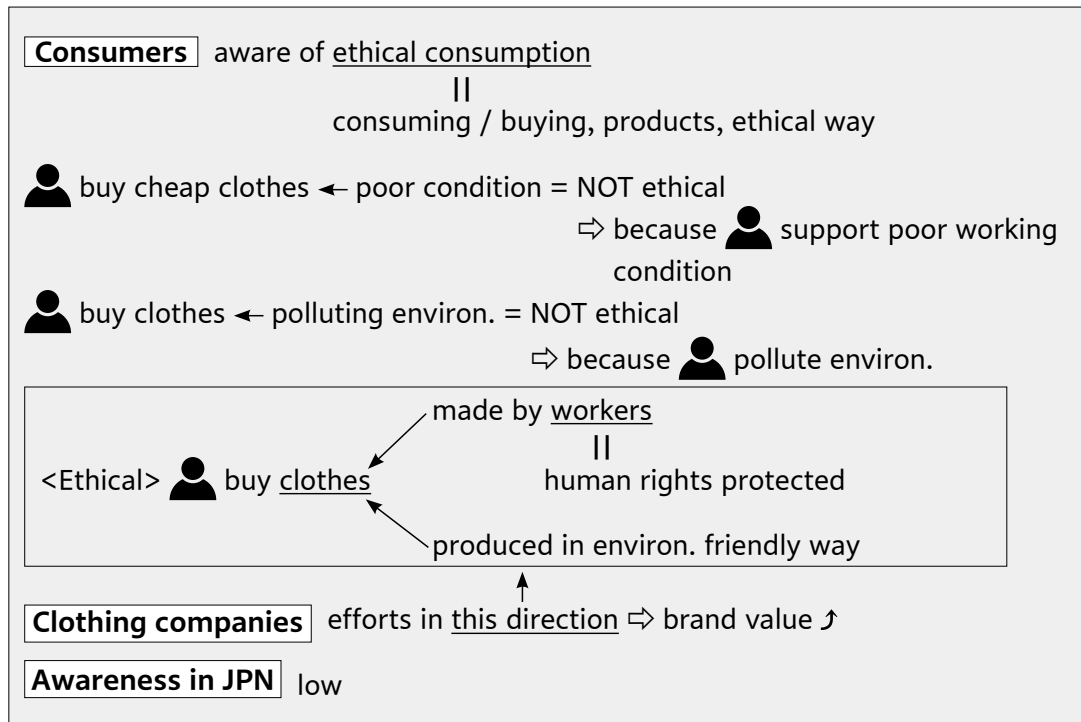
 Aさん＝教科書を見ながらランダムに①～⑧を1文ずつ音読する
 Bさん＝何も見ずにそれを繰り返す
Aさん＝ () の箇所を「ピー」に代えて、①～⑧の文をランダムに音読する
Bさん＝ () 内の単語を答える

- ① Her problems () from her difficult childhood.
- ② I am training to become a () counselor.
- ③ Do you have any evidence to support this ()?
- ④ It is not yet clear what () the accident.
- ⑤ Please () litter in the trash box.
- ⑥ No further information has () yet.
- ⑦ Public opinion is sharply () on this issue.
- ⑧ All the infected clothing needs to be () rather than buried in a landfill.

Retelling

DL 007 CD1-17

次のキーワードを利用しながら本文の要約を言ってみましょう。例は音声で確認できます。



Commenting

DL 008 CD1-18

1～10は本文の内容に関連するコメントです。自分の考えに似たコメントがあれば組み合わせたり、意見を付け加えたりして、自分の考えとしてパートナーに伝えてみましょう。

1. I had never heard the term “ethical consumption” before I read this.
2. To be honest, I had never thought about the people who made my clothes. I just thought about buying good things at cheaper prices.
3. From now on, I will buy clothes from clothing manufacturers who respect the human rights of the people who make those clothes.
4. I would like to avoid buying products from fast fashion brands.
5. I know that human rights for workers are important, but I can't help buying cheap clothes because I am not rich.
6. Environmentally friendly fashion items are too expensive for me to afford.
7. I think we should watch each clothing manufacturer carefully to see how they deal with this issue.
8. I didn't know that the clothing industry uses a lot of water.
9. Japan should be more serious about ethical consumption.
10. We should buy a smaller number of higher-priced and better-quality clothes.